

市長定例会見

令和3年6月3日（木曜日）10時00分～

- 1 令和3年6月市議会定例会の補正予算について
- 2 市民避難行動促進「三原スタイル構築事業」について
- 3 新型コロナウイルス感染状況等について
- 4 その他



一般会計で3億354万円を増額

※詳細は、次ページに掲載

一般会計 3億 354万円の主なもの

1. 新型コロナウイルス感染症に関するもの [+ 1億 2,030万円]

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| ・ワクチン接種会場までの移動支援 | 補正額 3,220万円 |
| ・高齢者のワクチン接種の前倒しに係る追加経費 | 補正額 5,700万円 |
| ・小中学校及び幼稚園の感染症対策用備品や消耗機材などを購入 | 補正額 3,110万円 |

2. 国・県支出金等の追加に伴うもの [+ 9,384万円]

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| ・国の社会資本整備総合交付金の内示に伴うもの | |
| ①魅力あるまちなみづくり事業費（本町西国街道地区） | 補正額 300万円 |
| ②公園整備事業費（船木防災公園の防護柵設置など） | 補正額 4,350万円 |
| ③災害復旧事業費（市道木原29号線） | 補正額 4,000万円 |
| ・国の地方創生テレワーク交付金を活用し，サテライトオフィス等誘致事業を拡充 | 補正額 395万円 |
| ・コミュニティ助成金を活用し，集会施設の建設やエアコン等備品購入を助成 | 補正額 1,180万円 |

3. 事業費の増に伴うもの [+ 8,940万円]

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| ・大和町と世羅町を連絡する地域内公共交通手段を有償で実証運行 | 補正額 128万円 |
| ・三原港⇄佐木港の運賃値上げに伴う佐木島住民への支援 | 補正額 431万円 |
| ・市内の産科医療体制を確保するため産科医人件費や医療機器整備を補助 | 補正額 1,815万円 |
| ・旧老人大学解体工事のアスベスト除去の工法変更 | 補正額 4,000万円 |

一般会計 3億 354万円の財源内訳

○主に国・県支出金等の追加

特定財源	〔+ 2億 1,673万円〕	国庫支出金 + 1億 1,688万円 県支出金 + 514万円 市債 + 6,840万円 その他 + 2,633万円
一般財源	〔+ 8,681万円〕	令和2年度決算剰余金

○大和町と世羅町を連絡する移動手段の実証運行を行います。

目的	令和2年10月に厚生文教委員会が取りまとめた政策提言に対し、事業実施を検討するため、実証運行を行う。 乗車率や収支率を検証し、利用者へのアンケート等により地域住民のニーズを調査する。
運行内容	<ol style="list-style-type: none">1. 運行経路：大和支所～世羅中央病院2. 運行期間：令和3年10月～令和4年9月（1年間）3. 運行日：月・水・金曜日の週3日（大和ふれあいタクシー運行日と同じ）4. 運行便数：1日2往復程度5. 運行車両：14人乗り中型自動車（1台）6. 運賃：有料（路線バスの運賃と同程度を予定）
利用方法	<ol style="list-style-type: none">1. 利用者は、現在運行中の大和ふれあいタクシーで自宅から大和支所へ移動。2. 実証運行車両を利用し、大和支所から世羅中央病院へ移動。

○三原港～佐木港間の旅客運賃の値上げに対する支援を行います。

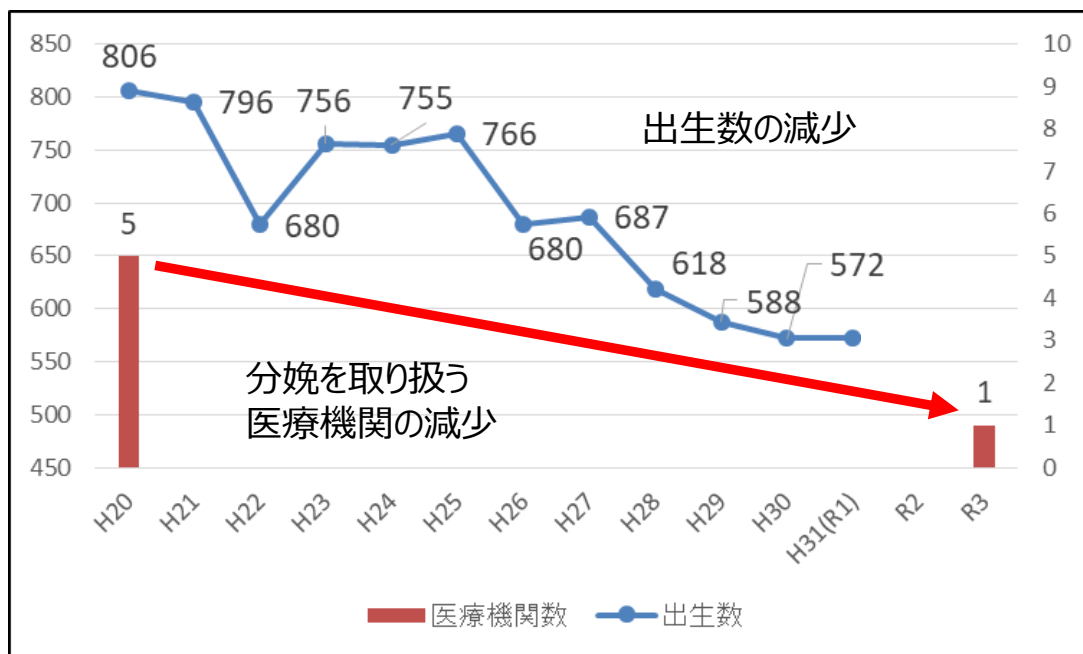
経緯	令和3年4月に三原港～佐木港間の旅客運賃が大幅に値上がりすることに伴い、運賃支援を求める署名簿（14,464名）が市に提出され、検討の結果、佐木島住民への支援を決定したものの。
対象者	佐木島に住民登録がある小学生から69歳までの者
支援内容	1. 通勤定期券購入者 ・通勤定期券の値上額（6,840円/月）の1/2を上限として支援 ・通勤定期券購入者が、4か月ごとに市へ『支援金交付申請書』を提出
	2. 通学定期券購入者（高校生） ・通学定期券の値上額（4,560円/月）の全額を支援 ・運賃改定前の価格で販売し、航路事業者が差額を市に請求
	3. 上記1と2を除く対象者 ・1人あたり190円券（小学生100円券）を82枚交付 ・航路事業者が利用済みの190円券を回収・集計し、市に請求（実費精算）

※事業は4月から実施。補正予算は市の7月から3月の支払費用が対象。

令和3年6月定例会 補正予算 補正額：1,815万円

市内の産科医療体制確保

1 現状



※出生数は人口動態統計による（H30まで）

2 課題

市内で出産できる産科医療機関が1機関となり、これを維持する必要がある



3 対策

- ①産科医確保(非常勤医師や研修医の人件費補助)
- ②医療機器等の設備補助

旧老人大学解体工事のアスベスト除去の工法変更

- ・現地試験の結果，アスベスト除去工法を変更する必要が生じた
 当初：「剥離材併用による手工具ケレン工法」
 ↓
 変更：「泡噴出集塵装置付湿式ディスクグラインダーケレン工法等※」
- ・工法変更により，アスベストを完全に除去
- ・安全を第一に考えて工事を実施



当初額	補正額	合計
92,000千円	40,000千円	132,000千円

※泡噴出集塵装置付湿式ディスクグラインダーケレン工法とは

剥離材で外壁仕上塗剤を軟化し，ディスクグラインダーで削り取った粉じんを，泡にからめて吸い込みながら作業するため，粉じんを外に漏らすことなく除去することができる工法。

剥離材併用による手工具ケレン工法では除去することができない，凹部に入り込んだアスベストを除去することができる。

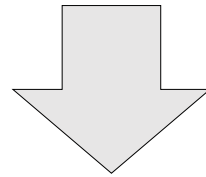


市民避難行動促進「三原スタイル」構築事業について

1 経緯

平成30年7月豪雨災害の検証を受け、

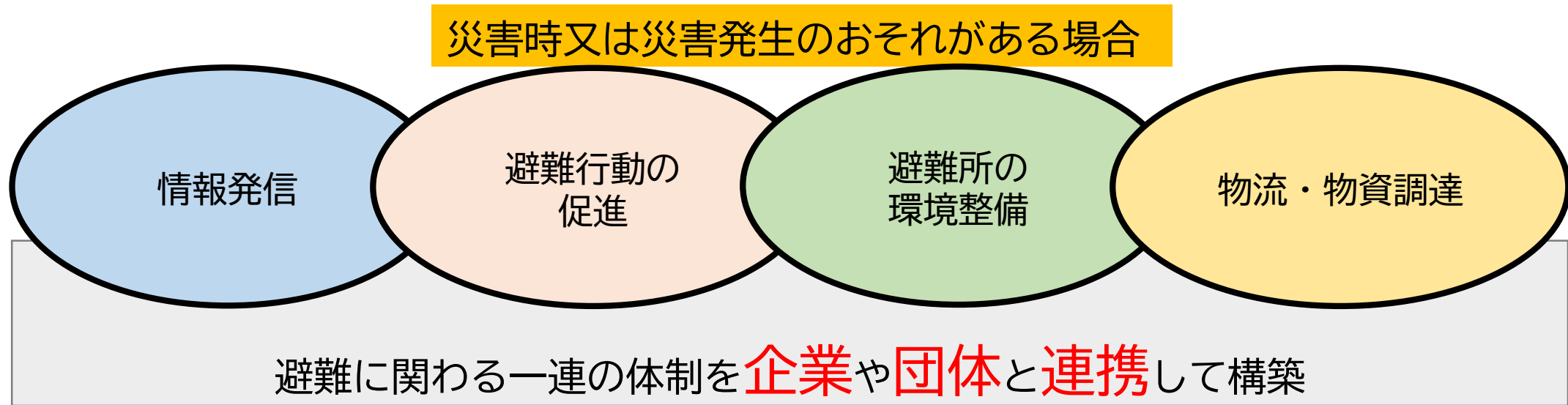
「効果的な避難情報伝達システム」と「避難促進のための社会システム」の構築を図るため、平成31年度から2カ年にわたり、県立広島大学防災社会システム・デザインプロジェクト研究センターと連携して、避難行動調査研究事業を実施調査研究の結果、災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合において、**企業や組織の支援協力を得た官民連携による市民避難行動促進システム**を構築すべきとの結論



市民避難行動促進「三原スタイル」構築事業の実施

市民避難行動促進「三原スタイル」構築事業について

2 「三原スタイル」とは？



避難に関わる一連の対応は、市や企業・団体が個別に進めるのではなく、市民のニーズや行動を捉えながら、それぞれが横断的につながった「社会システム」としての構築をめざす。

市民避難行動促進「三原スタイル」構築事業について

3 市民避難行動促進「三原スタイル」構築連携協議会の設立

- 令和3年5月31日設立 会長 三原市長
- 三原市と市内で活動する **30の企業・団体**が協議会に参加してスタート

参加企業・団体（順不同）

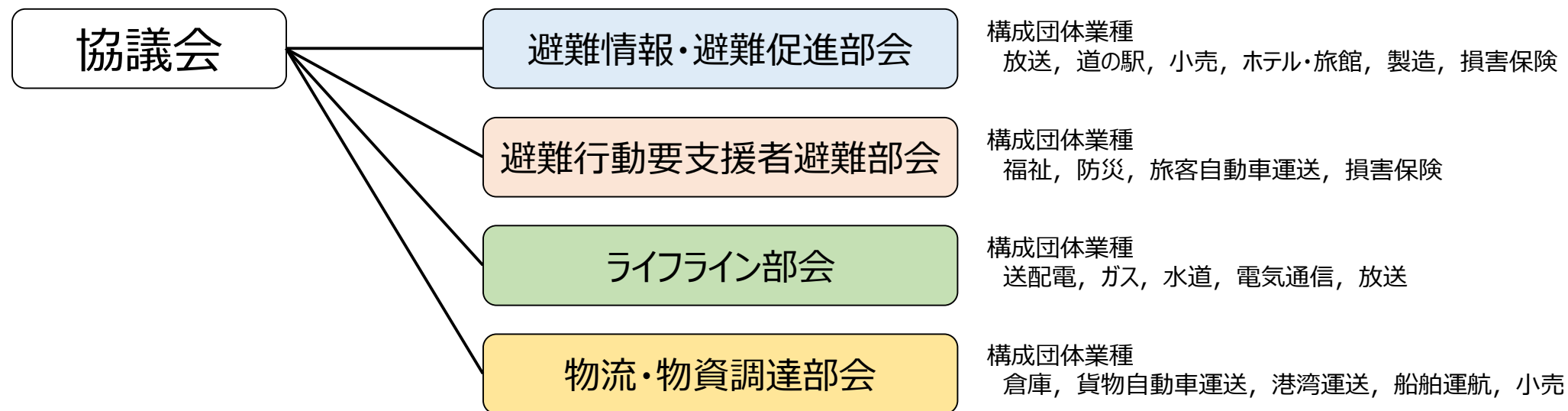
放送：三原テレビ放送(株)，(株)FMみはら 道の駅：道の駅みはら神明の里，道の駅よがんす白竜
流通：イオンリテール(株)，(株)フジ，(株)フレスタホールディングス，マックスバリュ西日本(株)，
生活協同組合ひろしま
ホテル・旅館：三原ホテル旅館組合 製造：(株)八天堂，お多福醸造(株)
損害保険：あいおいニッセイ同和損害保険(株) 送配電：中国電力ネットワーク(株) ガス：広島ガス(株)
電気通信：西日本電信電話(株) 倉庫：糸崎倉庫(株) 貨物自動車運送：佐川急便(株)，城南運輸(有)
港湾運送：(株)上組 船舶運航：土生商船(株) 旅客自動車運送：三原交通(株)，城南観光(有)
福祉：(福)三原市社会福祉協議会，三原市老人福祉施設協議会，三原市介護支援専門員連絡協議会，
三原市地域包括支援センター
防災：三原市防災ネットワーク，三原市防災士ネットワーク，三原市自主防災組織連絡協議会

市民避難行動促進「三原スタイル」構築事業について

3 市民避難行動促進「三原スタイル」構築連携協議会の設立

● 事業

事業の実施は，協議会に次の4部会を設置して，各部会でとりまとめた避難行動促進システムを実行する。



市民避難行動促進「三原スタイル」構築事業について

4 事業実施の具体例

部会等での調査研究を行うなかで、企業・団体のノウハウやアイデアを基に、三原ならではの避難行動促進システムを確立させる。

【避難情報・避難促進】

これまで行政や報道機関が発信してきた避難情報等を会員店舗等でも一斉に発信する。

【避難行動要支援者の避難】

これまで自主防災組織等で取り組んでいた個別避難計画の作成等を福祉専門職と連携して実施する。

【災害時のライフライン情報】

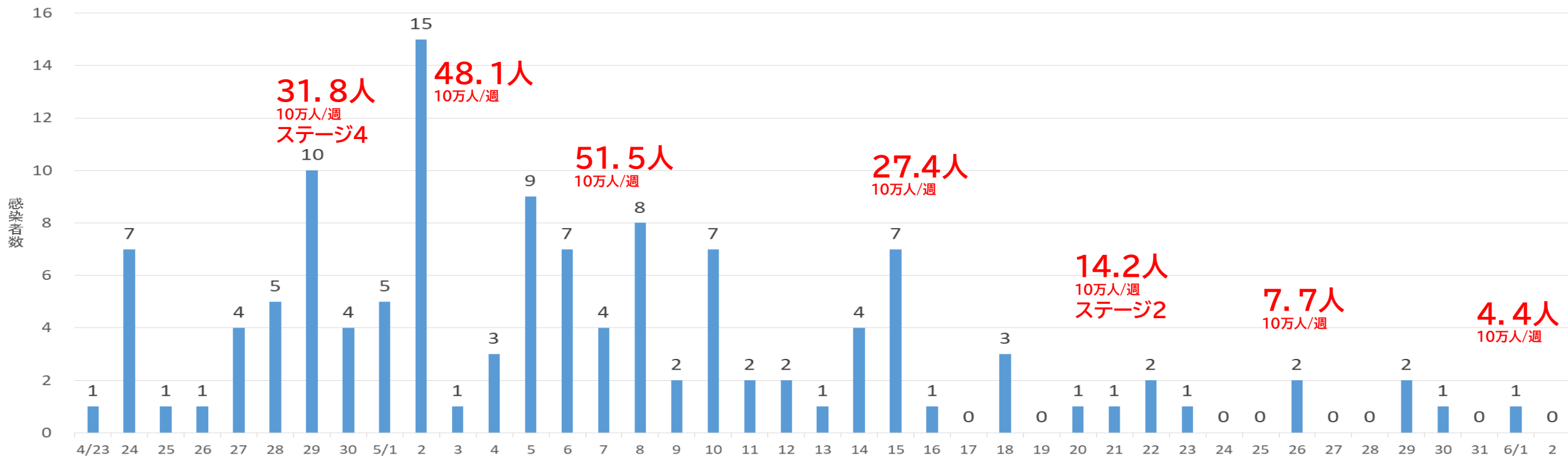
これまで各企業・団体が個々に発信していた防災・災害情報の一元化を進める。

【災害時の物流・物資調達】

これまで行政主導で行ってきた緊急物資の輸配送を運送事業者等と連携して効率化を進める。

三原市内の新型コロナウイルス感染状況

4月下旬からの感染状況



酒類提供店内クラスター

三原市感染拡大防止警戒宣言

PCRスポット会場開設

県東部会合クラスター

外出・行事施設利用自粛

広島県集中対策5/8～6/1

三原市集中対策5/6～1

広島県緊急事態措置5/16～

三原市緊急事態対策5/5～31

広島県緊急事態措置延長5/6～20

三原市緊急事態対策延長5/20

ワクチン接種の進捗状況

	人数	必要接種回数 (a)	接種済回数 (b)	進捗(%) (b/a)
医療従事者	5,412	10,824	県非公表	県非公表
高齢者施設従事者	892	1,784	6月上旬から実施	
65歳以上	32,348	64,696	<u>7,734</u>	<u>12.0%</u>
16歳から64歳	47,806	95,612	未定	
合計	80,154	160,308	<u>7,734</u>	<u>4.8%</u>

※ 人口 R3.4月末
接種状況 6/2現在

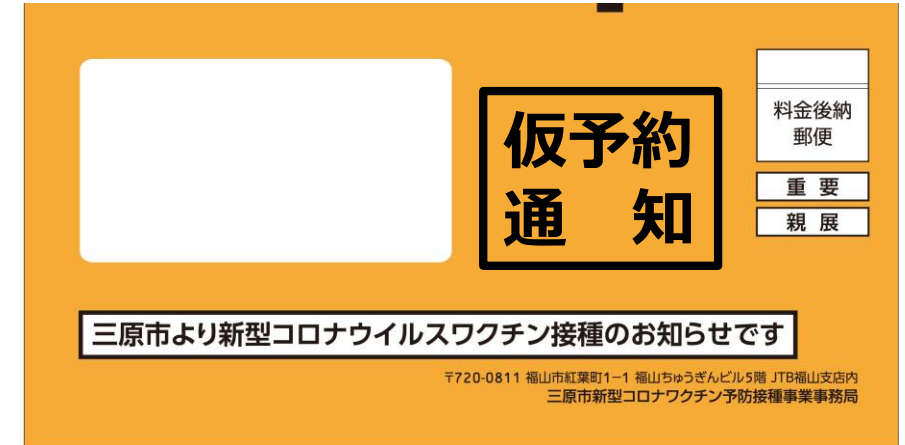
集団接種 申込方法の変更

1 申込方法の変更

(1) 対象者

1 回目の接種予約ができていない人

(2) 申込方法の変更



	当初	変更後
予約	専用コールセンター・専用ホームページを通じて申し込みし、決定	①市が仮予約日(接種日)を決めて対象者に通知 ②対象者は4つの選択肢から希望する対応を選び、はがきを返信 ③はがきの返信内容をもって決定

郵送する同封書類

通知書(仮予約日のお知らせ)

(表面)

723-0000
三原市港町3-5-1
〇〇 〇〇 様

(整理番号:)

問い合わせ
三原市保健福祉課
(TEL:0848-67-6019)
989009-179900分(工-白-取次<)

ワクチンの仮予約日のお知らせ

申し込みの混乱を避けるため、市であなたの仮予約日(仮接種日)を決めていただきました。つきましては、あなたの希望について、下の4つの選択肢を選び、同封のはがきのご住所・お名前・電話番号・希望欄をご記入のうえ、ご返信ください。

◎ 1回目接種日時(1回目)
令和03年05月29日 16時 0分(会場:三原市中央公民館)

◎ 2回目接種日時(2回目)
令和03年06月19日 16時 0分(会場:三原市中央公民館)

次の選択肢からあなたの希望を1つだけ選び、必ずはがきを返信してください

① 仮予約日で接種できる → はがきの①の希望欄に○を記入して返信予約が確定します 当日お越しください

② 仮予約日は都合が悪い → 市(0848-67-6019)に連絡し、接種日を変更はがきの②の希望欄に○を記入して返信

③ かかりつけ医などで接種したい → はがきの③の希望欄に○を記入して返信7月までに接種可能な病院や予約方法等、案内を送付します ※現在はまだ予約できません

④ 接種を希望しない → はがきの④の希望欄に○を記入して返信

ワクチン・会場準備の都合上、この手紙を返取られてから1週間以内の返信にご協力をお願いします。

こちらに仮予約日を記載しています。

(裏面)

会場のご案内

三原リージョンプラザ (三原市円一町2丁目1番1号)

本町会場 本郷生涯学習センター
三原市本郷南6丁目25番1号

久井会場 久井小学校屋内運動場
三原市久井町下津1397

大和会場 勤労福祉センター
三原市大和町和木384-1

※接種当日は、接種クーポン券、本人確認書類(運転免許証、保険証など)を必ずお持ちください。

よくあるご質問

Q1. 接種クーポン券とはなんですか?
A1. 4月初めに送付したオレンジ色の封筒に入っていたあなたのご住所・お名前などを記載した紙(白色)です。

Q2. 接種クーポン券をなくしたのですが?
A2. 再発行ができます。0848-67-6019までご連絡ください。

Q3. 接種当日は予約時間の何分前に会場に行けばいいですか?
A3. 10分前までを目安にお越しください。

接種クーポン券イメージ

(ご住所) (お名前)

返信用はがき

希望する内容を1つ選び、
全ての人が返信します。

新型コロナワクチン接種申込

新型コロナワクチン接種については、次のとおり希望します。

(希望欄に1つだけ「○」をしてください。)

希望	内容
①	市が指定した日時での集団接種を希望する
②	市が指定した日時を変更する
③	かかりつけ医など(市内医療機関や高齢者施設等)での接種などを希望する
④	新型コロナワクチン接種を希望しない

※現時点で予約は確定していません。
必ずはがきを返信してください。

接種希望（4つの選択肢）

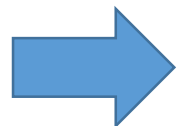
(3) はがきによる回答（すべての人が選択肢から選んで返信する）

「4つの選択肢」

返信

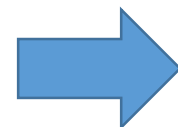
「対応」

① 仮予約日で接種できる



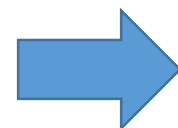
はがきの①の希望欄に○を記入して返信してください。予約が確定しますので、当日お越しください。

② 仮予約日は都合が悪い



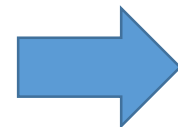
市(0848-67-6019)に連絡をして接種日を変更し、はがきの②の希望欄に○を記入して返信してください。

③ かかりつけ医や高齢者施設などで接種したい



はがきの③の希望欄に○を記入して返信してください。7月までに接種可能な病院や予約方法等案内を送付します。

④ 接種を希望しない



はがきの④の希望欄に○を記入して返信してください。

ワクチン接種 移動支援（タクシー料金助成）

新型コロナワクチン接種のために利用される

タクシー料金の一部を市が助成します

対象の方

65歳以上で、バスや自家用車などで接種場所に来られない人

期 間

令和3年5月29日（土）～令和3年10月31日（日）（予定）
※市内でのワクチン接種が終わり次第終了します。

内 容

タクシー乗車1回(片道ごと)につき1,000円を超える額を市が助成します。

助成例

- ①運賃 900円の場合：全額をご負担ください。（市の助成はありません。）
- ②運賃1,500円の場合：1,000円を自己負担，500円を市が負担

利用方法

- ①（乗車時）ワクチン接種場所へ行く（から帰る）ことを運転手に伝える。
- ②（降車時）ワクチン接種券を運転手に見せる。
- ③（ " ） 1,000円までの自己負担を支払って降車する。

※他の場所に立ち寄るなどの、ワクチン接種目的以外には利用できません。

令和3年6月3日

「生理の貧困」対策 希望者に生理用品を無料で配布します

三原市では、経済的な理由で生理用品を購入できない、いわゆる「生理の貧困」問題に対応するため、生理用品を無料で配布します。

市役所本庁及び各支所、社会福祉協議会の三原地域センター及び本郷・久井・大和地域センターにおいて、希望の対象者に6月3日から配布します。

また、市内の学校については、国公立を問わず、すべての小中高等学校に、6月1日にお届けしており、各校において準備が整い次第、希望の児童生徒に、配布を開始します。

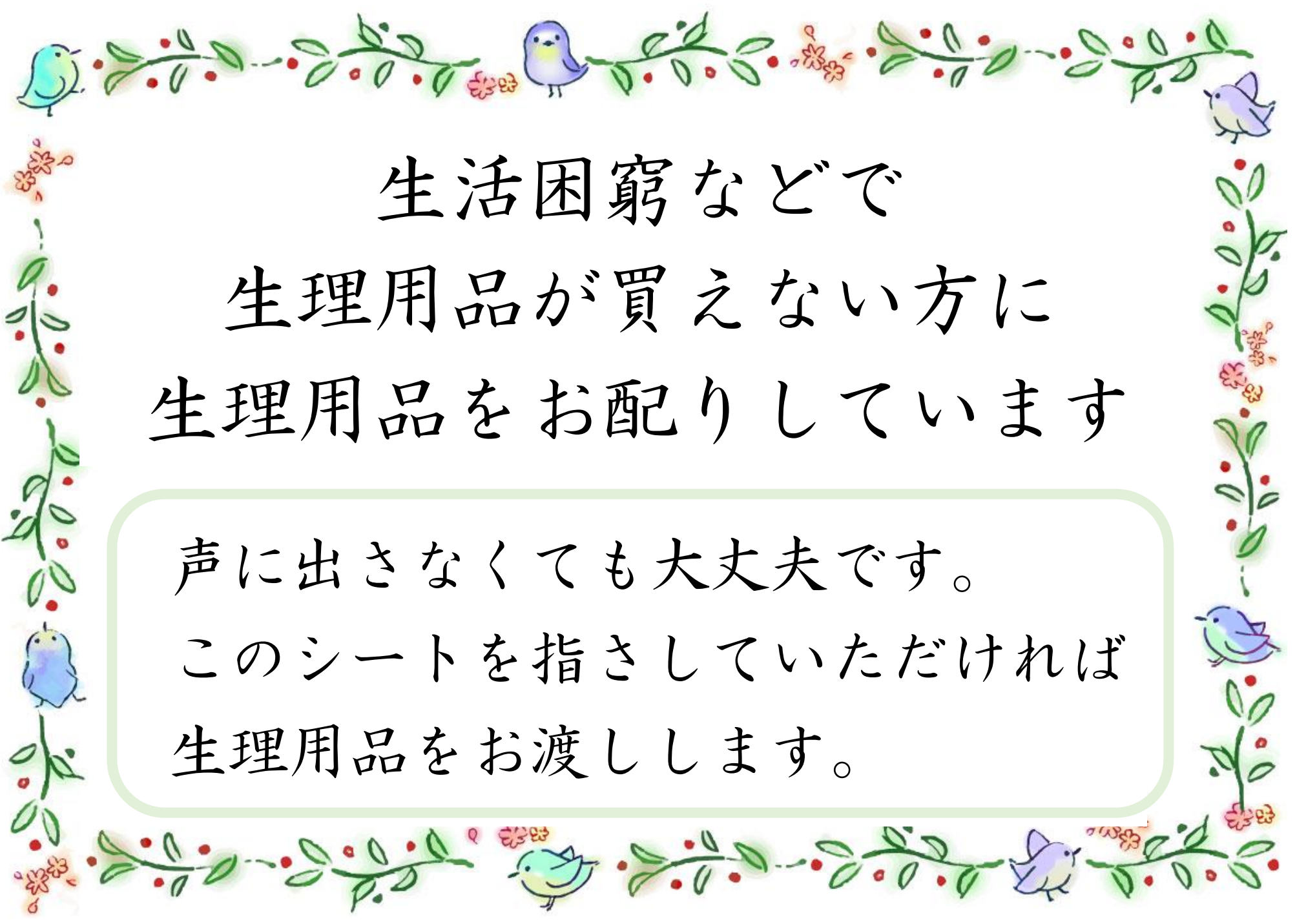
【事業のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症が長期化する中、生活困窮する女性を応援
- 小中高等学校へは、6月1日に、計144パック（3,096枚）を配布済み

＜市役所・社会福祉協議会での配布＞

- 1 対象者 生活困窮など経済的な理由で生理用品が購入できない人
- 2 配布場所 市役所本庁舎1階社会福祉課の窓口及び各支所
社会福祉協議会の三原地域センター及び本郷・久井・大和地域センター
- 3 配布内容 おひとり1パック（内容量・機能についてはご希望に添いかねます）
- 4 配布時間 平日午前9時から午後5時まで
- 5 配布期間 令和3年6月3日（木）から8月31日（火）まで
- 6 配布方法
 - ・2の配布場所に該当する希望者が取りに来てください
 - ・持ち帰り用の袋をご持参ください
 - ・配布希望者へのプライバシー配慮の観点から、住所・氏名は確認しません
 - ・窓口で「配布希望」のシートを指さして意思表示された方に配布します

【問い合わせ先】 人権推進課 課長 門 康樹（かど やすき）
男女共同参画係長 向井 美穂（むかい みほ）
〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号
TEL0848・67・6044(直通) FAX0848・64・4103



生活困窮などで
生理用品が買えない方に
生理用品をお配りしています

声に出さなくても大丈夫です。
このシートを指さしていただければ
生理用品をお渡しします。